

**車掌・新型車携機導入に伴う問題点を議論！
準備、締切りに時間がかかる！
バッテリーが持たない！
発券が遅い！
車掌が直面している実態を訴える！！**

**「申6号 車掌新型車携機の申し入れ」
について業務委員会開催**

名古屋地本は、10月11日、「申6号 車掌新型車携機の申し入れ」について業務委員会を行い、新型車携機導入以降のさまざまな問題について議論してきました。

新型車携機導入時は、慣れない機器に時間を多く要していました。使用につれ慣れてはきたものの、トラブルは依然として発生しています。通告機能も使用開始されています。

名古屋地本は、職場の声を聞き、技術革新に速やかに対応してより良くするよう申し入れ会議は終了しました。

【申し入れに対する会社回答】

1. 始業操作に時間がかかるため早め出勤で対処している。これは明らかにサービス労働であり極めて不当な事態である。また、締切操作に時間がかかるため終了点呼を超えてしまっている。準備報告時間（出勤時10分増、退出時5分増）を増やすこと。

【回答】 必要な時間は確保している。

2. 乗務員詰所では、労働時間外で充電または乗泊で充電をしているが、なかなか充電されない。急速充電器を乗務員詰所に置くこと。

【回答】 そのような考えはない。

3. 毎行路、予備電池を2個携帯している。電池がなくなるのが早いので改良すること。

【回答】そのような考えはない。

4. トンネル内では発券できない。改良すること。

【回答】オフライン発券モードで対応されたい。

5. 乗車券、特急券の発券速度が遅い。改良すること。

【回答】現行の通りとする。

6. スクリーンロックになる時間が早い。改良すること。

【回答】現行の通りとする。

7. 速やかに改良できない場合は、発券機能のみを使用し旅客対応に専念すること。

【回答】そのような考えはない。

【主なやりとり】

組合：導入以降使い方には慣れてきた様ではあるが、相変わらずトラブルが多い。フリーズする。締切りが出来ないときは超勤対応で良いのか。

会社：超勤対応である。

組合：バッテリーの減りが早い現状の中で「電池がなくなるのが早いので改良すること。」と申し入れたが「そのような考えはない。」というのならば、車掌はどう対応すれば良いと考えているのか。

会社：一部箇所（伊勢、亀山、伊那松島、豊橋）では必要に応じて3個の増貸与している。

組合：バッテリーも携帯品で、多く持てば良いというものではない。

会社：少ないに越したことはないが、技術的にクリアできない。機能性を高めたためバッテリーの消費は大きくなった。

組合：バッテリーの容量、CPU、メモリーの容量を知りたい。CPU、メモリーの容量不足ではないか。

会社：ここでは分からない。

組合：発券機能のみとして、情報系はスマホで良いのでは。業務用携帯電話も省略できる。

会社：一体の今の形式が良いと考えている。

組合：充電について、今のままではバッテリーに充電できるのは使用中のものだけである。急速充電器によって使用済みのバッテリーへの充電が必要である。

会社：それはそれで、忘れてしまうなど問題が出るので現行で対応されたい。

組合：情報機器は日進月歩。技術革新される中、よりよいものに改良されたい。

会社：了解。

以 上